

居る佛典には、予の調べ得た所では次の十種を數へることが出来る。

- (1). 2039. Ch. 44 du 瑜伽論
- (2). 2073. 薩婆多宗五事論 I Ch.
- (3). 2116. 薩婆多宗五事論
- (4). 2122. 瑜伽師地論 Sec. 15-20.
- (5). 2139. 釋迦牟尼如來像法滅盡之記
- (6). 2282. 諸星母陀羅尼經
- (7). 3070. 裏同上
- (8). 2284. 大乘稻竿經隨聽疏
- (9). 2794. 大乘四法經論及廣釋開決記 I Ch.
- (10). 2886. 歎諸佛如來無染着德讚

此等の中、(5)は史林前掲の號に解説したもの、(1)と(4)とは、前者はたゞ瑜伽論と題し、後者は瑜伽師地論と題せるによりて、史林に載せた解説中にも區別したまゝに記して置いたが、多分前者は瑜伽師地論の略名であらう。たゞ Sect. 15-20 として掲げてあるのである。(2)と(3)とも史林の解説中に收めて、(3)を別本(同一譯本の)として置いた。(6)は石濱君の示し居られる通りペリオ氏自身既に之を報じて居るが、(7)も同一の經典で、或る佛典の裏に拙い文字で書かれて居るものである。(8)も既に江杜氏の出刊に用ゐられたものゝ別本である。残りの(9)と(10)とはまだわ